

CONTENTS

巻頭言

- 1 「世界と共に成長する横浜」を目指して
横浜市長 林 文子

ZOOM UP

2 多言語相談窓口の事例

- 2 **コロナ禍にこそ問われる、多言語相談窓口の役割・意義**
(公財)仙台観光国際協会国際化推進課 交流係長/仙台多文化共生センター センター長 菊池 哲佳
- 6 **コロナ禍における外国人相談窓口の現状と対応について**
(公財)埼玉県国際交流協会
- 8 **岡山市外国人総合相談窓口について**
岡山市市民協働局市民協働部国際課
- 10 **北九州市 多文化ソーシャルワークを導入した外国人相談窓口**
北九州市企画調整局国際部国際政策課
- 12 **コロナ禍における情報発信とオンライン相談の試行**
長岡市国際交流センター
- 14 **弁護士による専門家相談の実現と相談事例**
日本弁護士連合会 多文化共生ワンストップセンター対応PT
弁護士 大林 弘典

現場レポート

- 16 **新習慣！ビッグデータを活用した「北京健康宝 (Health Kit)」の導入**
(一財)自治体国際化協会北京事務所 所長補佐 齋藤 和輝 (愛媛県派遣)
- 19 **プロモーションアドバイザーと自治体とのオンラインクロストーク～コロナ禍におけるインバウンド政策をテーマに～**
(一財)自治体国際化協会交流支援部経済交流課 主査 福田 慧美 (滋賀県派遣)
- 22 **FICEC は外国人の駆け込み寺**
埼玉県指定・認定特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター
理事長 石井 ナナエ
- 24 **仙台市×イタリア、友好の歴史とスポーツを通じた交流～東京 2020 大会を契機として共生社会の実現に向けた取り組みを加速～**
仙台市文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課
- 26 **クリアフォーラム～共通の政策課題に対する取組事例を共有～**
(一財)自治体国際化協会シドニー事務所 所長補佐 西 浩子 (三重県津市派遣)

国際化の最前線から

- 27 **地域資源を活かした「観光、食、モノ」のグローバル・ブランディングとプロモーション**
岐阜県観光国際戦略アドバイザー 古田 菜穂子

JET 活躍の現場から

- 28 **世界の魅力を宮崎に！「日本のひなた 宮崎県」の魅力を世界に！！**
宮崎県商工観光労働部観光経済交流局オールみやざき営業課

JET からの手紙

- 30 **コロナ禍における国際交流**
愛媛県新居浜市市民環境部地域コミュニティ課
Noor Farahnaz Abu Mansor (ヌル・ファラナス・アブ・マンソル)

驚クレな体験談～World 見聞録～

- 32 **コロナ禍が変えたフランスのマスク事情**
(一財)自治体国際化協会パリ事務所 所長補佐 星 奏衣 (札幌市派遣)
- 33 **国際交流は一日にしてならず！**
岡山市市民協働局市民協働部国際課 主任 山本 さやか

表紙写真



(上) タブレット端末を活用した窓口対応 @ 大田区
(左下) 北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター @ 北九州市
(右下) ベトナム人相談員による窓口相談 @ 長岡市
外国人が必要とする情報に的確に接することができる拠点づくりが求められる。

- 自治体国際化協会 (CLAIR クリア) とは
自治体の国際化推進を支援すること等を目的とする自治体の共同組織です。東京に事務局・本部を構え、ニューヨーク、ロンドン、パリ、シンガポール、ソウル、シドニー、北京に海外事務所を設置しています。JET プログラム事業、自治体の海外活動の支援、諸外国の地域活性化に関する情報収集、さらには日本の地方自治体制度の世界への発信などを実施し、自治体と世界各国の懸け橋となっています。
- JET プログラムとは
JET プログラム (語学指導等を行う外国青年招致事業) とは、外国青年を招致して地方自治体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流推進を図る事業です。ALT (外国語指導助手)、CIR (国際交流員) 及び SEA (スポーツ国際交流員) の3種類があり、2019年7月1日現在 57か国から 5,761人の青年が国内各自治体で活躍しています。
- 詳細はクリアホームページで！ <http://www.clair.or.jp/>